



— 協議会の今後の取り組み —

比企地域には、三門館跡(滑川町)や宗悟寺(東松山市)、菅谷館跡(嵐山町)など、比企氏・源氏にゆかりがある史跡が多く残されています。

協議会では、これらの史跡やゆかりの人物等をまとめた、比企の歴史リーフレットを作成し、県内外の方に広くPRします。

また、各構成市町村に歴史・観光コーナーを設置し、作成したリーフレット等を配布し、比企の魅力を発信していきます。

協議会の取り組みは、各構成市町村のホームページや広報誌等で情報発信していきますので注目してください。

協議会で作成予定の広報物等

- ・比企の歴史リーフレット
- ・展示ポスター
- ・のぼり旗
- ・キャラクターシール
- ・自治体PRチラシ

自治体広報のリレー企画が始まります！

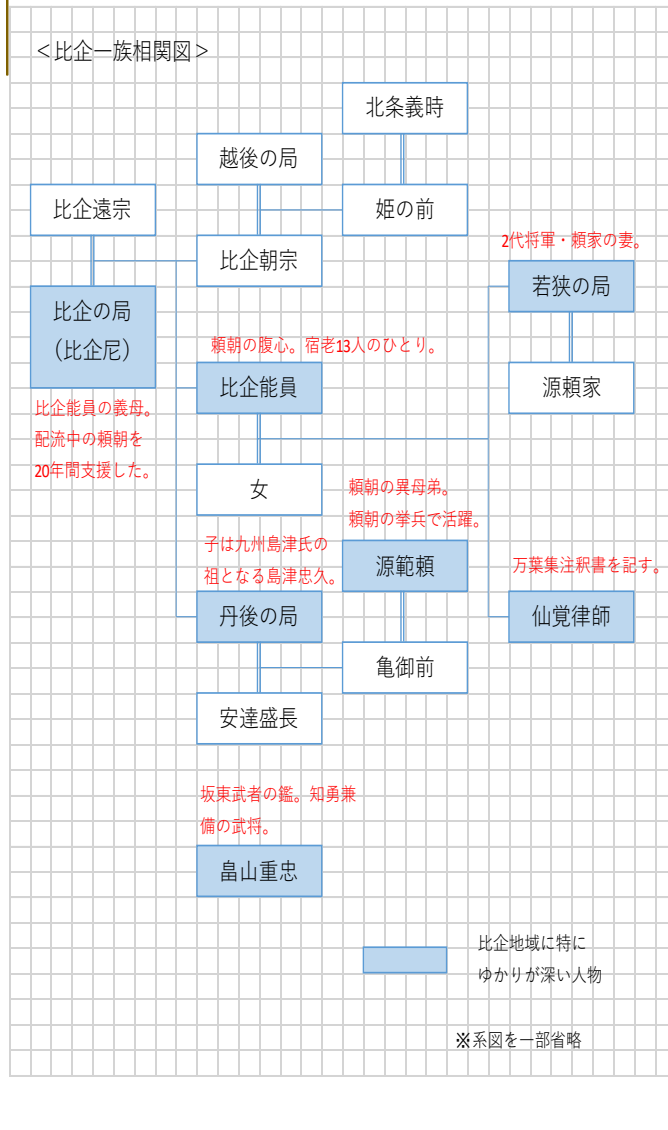
9月号の広報から「比企の歴史まるわかり！9市町村広報リレー」がスタートします。構成市町村が順番に、おらがまちの史跡を特集する9ヶ月連続企画です。各市町村の広報担当が腕を振りますのでお見逃しなく！

令和3年		令和4年	
9月号	滑川町	1月号	川島町
10月号	東松山市	2月号	吉見町
11月号	嵐山町	3月号	鳩山町
12月号	小川町	4月号	ときがわ町
		5月号	東秩父村

比企能員・比企尼が

来年の大河ドラマに登場します！

比企地域は鎌倉時代にゆかりが深い



大河ドラマをきっかけとして、比企地域の魅力を発信し、地域の活性化につなげていくため、9市町村(東松山市、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村)を中心に推進協議会を設立しました。会長には吉田昇滑川町長が就いています。

協議会では、自治体だけでなく官民連携にて事業を推進するため、比企一族を長年研究されている「比企総合研究センター」にも助言をいただいています。

今後は、大河ドラマの放送開始に向けて、比企の豊富な歴史資源とたくさんの方の魅力を発信していきます。

現在放送中の「青天を衝け」に次ぐ、来年の大河ドラマは「鎌倉殿の13人」と発表されました。大河ドラマをきっかけとした地域活性化を図るため、令和2年12月に大河ドラマ「鎌倉殿の13人」比企市町村推進協議会を設立しました。

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」

比企市町村推進協議会とは

2022年大河ドラマ「鎌倉殿の13人」あらすじ

華やかな源平合戦、その後の鎌倉幕府誕生を背景に権力の座を巡る男たち女たちの駆け引き―源頼朝にすべてを学び、武士の世を盤石にした男 二代執権・北条義時。野心とは無縁だった若者は、いかにして武士の頂点に上り詰めたのか。新都鎌倉を舞台に繰り広げられる、パワーゲーム。義時は、どんなカードを切っていくのかー (NHK ホームページより引用) 【放送予定】 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」(NHK) 2022年放送予定

北条氏の最大のライバルとして、比企能員(よしかず)、比企尼らが登場します。比企一族は鎌倉幕府誕生にどのような貢献をしたのか。比企一族はなぜ滅ぼされてしまったのか。来年の大河ドラマを見ればすべてがわかる!?

大河ドラマ開始に向け
9市町村推進協議会を設立



吉田会長(滑川町長)に大河ドラマへの思いを聞いてみました

Q 大河ドラマに比企地域にゆかりがある人物が登場します。

A 大河ドラマでまちおこしをするのは全国の首長の夢です。その夢が叶うというのは非常に嬉しく思います。同時に、この機を逃してはいけないという使命感も強く感じています。

Q 歴史を知ることが、まちおこしにどのようにつながっていくのでしょうか。

A 私が深く感銘を受けた言葉に「真の郷土の振興は先人の遺風業績を新たに掘り起こすことから始まる。過去を継承せずして健全な未来の創造はあり得ない」というものがあります。元嵐山町長関根茂章氏の言葉です。我々は先人の業績の上に立ち、次の時代に向けて仕事をしています。大河ドラマ

マ「鎌倉殿の13人」比企市町村推進協議会というのは、郷土の先達の業績を知る絶好の機会だと思います。

Q 協議会の活動を通じてどのような効果を期待しますか。

A 比企には、比企一族や源氏にゆかりがある史跡が多くあります。しかし、この地域に住んでいる方でもあまり知られていない。協議会では、比企の歴史の魅力を発信して、住民の皆様にお伝えしていきます。これを機会に次の世代へ比企の歴史が語り継がれ、郷土に誇りを持つ人が増えたら嬉しく思います。